

令和3年 萩市議会 3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	10	美 原 喜 大	2月22日午前
2	5	村 谷 幸 治	
3	6	五十嵐 仁 美	午後
4	3	瀧 口 治 昭	
5	13	西 中 忍	
6	2	小 林 富	2月24日午前
7	9	松 浦 俊 生	
8	12	関 伸 久	午後
9	14	長 岡 肇太郎	
10	18	宮 内 欣 二	
11	8	佐々木 公 惠	2月25日午前
12	4	松 浦 誠	
13	1	浅 井 朗 太	午後

質問順位	1	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 職員の選挙活動への関わりについて	<p>1. 新聞報道されている開所式における職員の手伝いは、事実ですか。</p> <p>2. 年休を取れば職員の身分・地位はなくなり選挙活動に参加できるということですか。</p> <p>3. このようなことは萩市倫理規程に抵触せず、今後も可となりますか。</p> <p>4. 近くには特別職もいたとありますが、この事態をどのように見ていたのですか。肯定をしていたのですか。注意又は、その行為を止めさせることは出来なかったのですか。その指導的責任は。</p> <p>5. どうしてこのようなことになるのですか。</p> <p>6. 今後の防止策は、如何に考えていますか。</p>		
2. コロナ禍における行事開催について	<p>1. コロナ禍で大凡の行事が中止される中、まちづくりセッション等が開催されました。（小川・須佐・弥富）議会は、同時期開催予定の議会報告会を中止としました。このことについて</p> <p>(1) どうしても（危険を冒してまでも）この時期に、開催しなければならないことでありましたか。このような集会をわざわざこの時期に開催されることが、トップとして相応しいですか。（萩いちばんNEWSとの整合性はとれていますか。）</p> <p>(2) 公民館の使用においては、制限が有り、使用に関し市民へ指導をされています。特にソーシャル（フィジカル）ディスタンスについては厳しく指導されています。しかし、セッション時における職員間のディスタンスは規程のものではありませんでした。市民には厳しく、自分たちには甘くとの感は、拭いきれません。</p> <p>如何に感じておられますか。そして、今後はどうお考えですか。</p>		

質問順位	2	質問者	村谷幸治議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 堀内伝建地区内における環境改善について	1. 伝建地区内における交通環境の改善について 2. 増加する空き家、空き地の管理について		
2. マリーナ萩内の県所有テニスコートについて	1. 現在の管理状況と今後の対応について		
3. コロナ禍における次年度の市の催しや学校行事等について	1. 次年度の催しや学校行事等の開催予定と延期となっている成人式の開催について		

質問順位	3	質問者	五十嵐 仁美 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新型コロナ感染対策について	<p>1. 厚労省が高齢者施設等での「社会的検査」を要請しているが、市内では始まっているのか。</p> <p>2. 在宅介護をしている世帯の家族が感染したり、濃厚接触者になったりした場合、要介護者はどうなるのか。また、1人親世帯で親が感染したら子どもはどうなるのか。</p> <p>3. 萩市内でクラスターが発生した場合の入院病床や療養施設は十分確保されているのか。また、宿泊施設や自宅での療養の場合の医療提供や生活支援の体制はどうなっているのか。</p> <p>4. 3月からワクチン接種が始まるが、その効果は地域で7割の人が抗体をもてば沈静化すると言われていたが、沈静化の見通しをどう考えているのか。</p> <p>5. 山口市や周南市のように、PCR検査や抗原検査の助成はできないか。</p>		
2. 国民の権利である生活保護について	<p>1. 緊急小口資金の貸付が急増していると聞いているが、萩市ではどうか。</p> <p>2. 生活保護申請件数は、新型コロナ禍でどうなっているか。</p> <p>3. 自動車の保有や、親族への連絡の実施など、柔軟な対応ができる申請しやすい窓口になっているか。</p> <p>4. 受給が決定した方への生活保護費の内訳など、理解できるように説明は行われているか。</p> <p>5. 急に入り用があり、生活費が不足するようなことがあったら対応策はあるのか。(受給している人が)</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
3. 介護保険制度について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年金額が月15,000円を下回る人は、窓口で介護保険料を納付しているが、滞納が急増し、ペナルティとして介護の給付制限を受けている人や財産の差し押さえをされている人がコロナ禍で増えている。萩市内ではどうか。 2. 住民税非課税世帯・年金年収120万円超の「第3段階②」に該当する人は、施設の食費負担が月22,000円引き上げられ、42,000円になるが、どのくらいの対象者がいるか。また、その対象者に周知しているか。 3. 2では年金が月10万円の人は完全な支出超過となってしまうが、どうなるのか。 4. 「第3段階②」の人がデイサービスやショートステイを利用する際の食費負担も引き上げられるが、対象者はどのくらいになるか。 5. 他にも負担増になる制度改定だが、利用や受診の抑制が招かれるのではないか。 6. 去年まで働いていて、一定の所得があったが、現在は要介護状態で所得が激減してしまった人は、高い利用料を負担させられるのか。払えなかったらどうなるのか。

質問順位	4	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 周辺地域における買物弱者への対策について	<p>1. 萩市においては平成元年12月に人口減少が進む中での通院、通学、買い物への対策として、萩市地域公共交通網形成計画を約3カ年かけて制定をされたところですが、萩市周辺の地域では買い物について、店舗そのものが無くなっていくという状態が始まろうとしています。JAの地域店舗が本年3月をもって閉店をするということです。急な事では無くて、事前にお知らせはありましたが、車の免許を持たない特に高齢の方々には生活の不便といえる事柄であると言えます。JAの合理化の中での問題といえはそれまでですが、他に商店が無い地域であれば生活にも影響する事態となります。何らかの方法を考えていくことも必要ではないでしょうか。</p> <p>また、佐々並地区においては、JA店の閉店への対応と道の駅の収益改善の為、道の駅あさひのコンビニエンスストア化が現在3月6日の開店を目標として改築工事が行われていますが、地元産品と競合するコンビニの商品も販売されるとのことですが、道の駅建設当時の地元産品の販売所としての目的が忘れられて行くのではないのかという住民の不安の声をお聞きしました。商品を納品する地元生産者の声を十分反映した店舗の運営となるのかお聞きします。</p>		
2. 萩のブランドの継承と存続について	<p>1. 萩にはこれまで萩ならではの商品、名品が数多くありますが、後継者の不在により、止む無く姿を消した萩ブランドの商品があります。商品そのものも無くなりますが、その製造技術も失われてしまいます。一方で新たな萩ブランドの開発も進められているようですが、新たな開発も必要でしょうが、今ある萩ブランドの継承と存続に目を向けることも必要であると考えます。県の事業予算の中には事業継承についてのももあるようですが、萩市としての取り組みの考えはありますかお聞きします。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
<p>3. 定住人口につながる地域活動の取り組みについて</p>	<p>1. 少子高齢化、人口減少は萩市にとって喫緊の課題ですが、問題意識はあってもなかなか具体的に動けていないのが現状ではないでしょうか。過疎の進行が目の当たりに見える周辺地域においては対象児童がいなくなり保育園が休園となる学校が休校になる。そんな現実が目前に迫っています。</p> <p>そんな中で、佐々並地区においては自分たち地域の将来を考え、学校を存続させ、地域の活性化を進めていこうとする保護者と学校を中心とした地域活動が始まりました。「ささラブ応援隊」です。</p> <p>現在子供さんのいる家族の移住を佐々並地区にしてもらう為に、説明会を企画されています。</p> <p>萩市からも地域づくり推進課をはじめ、教育委員会事務局、総合事務所などの参加協力を得てその準備を進められています。</p> <p>この活動の素晴らしいところは、行政主導ではなく、地域の住民の皆さんが自分たちの地域の将来を思い、自分たちの地域愛の中から活動しているところです。</p> <p>ただ残念なことは、予算がほとんどありません。</p> <p>新たに発足した団体であるため、旭地域のコミュニティ協議会にその準備はありません。今後このような組織や団体が市内各地域に、もしできれば、定住対策の大きな助けとなると考えますが市はどのようにお考えでしょうか。お聞きします。</p>

質問順位	5	質問者	西 中 忍 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 継続的に出生数を増加させるために今後必要な施策は何か	<p>1. 私は、萩市の抱える最大の課題が少子化・人口減少だという思いを一貫して持っている事から、これまで様々な施策の提案などを行ってきました。</p> <p>同時に、市でも子育て支援対策などを実施していましたが、特に藤道市長が就任してからの4年間で、子どもの医療費助成の拡充やあそぼ一舎の整備など子育て支援策や子育て環境の改善策などを行ったこともあり、減少し続けていた出生数が今年度は増加に転ずると聞いています。</p> <p>全国的に少子化が進んでいる中、増加に転じたことについて私は本当に良かったと思っていますが、基本ビジョンに掲げている出生数300人という目標を達成するためには、若年層の市外流出の抑制と同時に移住者の受け入れを加速させる施策や市民所得を向上させる施策など、更なる施策の展開が必要になると思います。</p> <p>そこで、今後も出生数を増加させるため、どのような取り組みが必要だと考えているかお尋ねします。</p>		
2. 会釈の励行で交通事故が減少できないか	<p>1. 山口県警察の令和2年版交通白書によると、県内での人身事故の発生件数は平成12年から20年連続で、負傷者数についても平成13年から19年連続で減少しています。</p> <p>しかし、子どもが歩行中に車にはねられるという事故が依然として発生し、その被害者数は小学生が最多だとありました。</p> <p>また、萩市では子どもが関わる重大事故が近年発生していないようですが、過去には横断歩道上で児童が車にはねられるという悲惨な事故が発生しています。</p> <p>一方で、日本自動車連盟JAFが行った全国調査の最新版によると、信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止率の全国平均は約21%で、トップの長野県は約73%と突出しています。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>長野県では、止まってくれた車へ軽くお辞儀するなどのマナーを実践している方が多いようで、この事が影響しているのではないかと思います。</p> <p>市内の小学校でも同様の取り組みを行っている学校もあるようですが、だからこそ長野県に習った交通指導を市内全小学校で徹底して実施すると共に実践し、子どもを含めた市民が被害者となる痛ましい交通事故の撲滅や萩市の交通マナー向上を進める考えがないかお尋ねします。</p>
<p>3. 新たな奨学金の創設で、医師不足という大きな課題に対応できないか</p>	<p>1. 市では、県立萩看護学生や萩准看護学院生、県立農業大学校生などを対象に奨学金を給付し、それぞれの担い手育成に取り組んでいます。</p> <p>しかし、現在大きな課題になっている医師の不足や高齢化という市民の安心・安全に直結する課題の改善に繋がると考えられる医師を目指す学生に限定した奨学金制度はありません。</p> <p>そこで将来の地域医療や救急医療を守るため、市民の安心・安全を確保するため、医師を目指す学生を対象にした奨学金制度を創設する考えがないかお尋ねします。</p>

質問順位	6	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 消防行政について	<p>1. 直近での事例を踏まえて火災発生現場での消火活動および消防行政についてお聞きします。</p> <p>(1) 火災規模にもよりますが、消火栓の水圧や水量が充分であるかどうかなどの点検はどのように確認していますか。</p> <p>また、家屋の密集地では水圧低下、また、藍場川など河川から給水時には水位が低い場合など消火の妨げや遅れの原因となりますか。</p> <p>(2) 萩市には市街地の住宅隣接地帯や漁業集落地、狹隘（きょうあい）道路が存在しますが、火災想定時の車両経路や消火栓の位置確認を事前にどのように確認していますか。</p>		
2. 寒波による断水および水道管破裂などその後の対応について	<p>1. 本年1月7日からの寒波や積雪によって萩市内で水道管が破裂し、福栄地域では断水が発生しました。その後、給水袋の配布や総合事務所が給水所となりました。1月15日には福栄地区全てが断水解除となりましたが、今回の影響および今後の対応についてお聞きします。</p> <p>(1) 断水解除後であっても濁りや変色があり水を流し続けることや、水道管の破裂等から水道料金等が不安との声をお聞きしています。具体的な対応についてお聞きします。</p> <p>(2) 福栄地域では一時的なものも含めた空き家において、水道管破裂が生じました。そのことが断水に影響した可能性があります。今回の件を踏まえて改めて空き家把握や維持管理、所有者への管理や代行サービスの推奨などどのように考えますか。</p> <p>(3) 給水が必要となった際、総合事務所では給水所に向かうのが困難な高齢者や一人暮らしの方にはどのように対応しますか。</p> <p>また、平時からの対策が必要と考えますが、日頃からの備えをどのように周知をしますか。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
3. 地域商社「萩・森倫館」について	<p>1. 前回議会ではこれまで5,000万円の予算を投じてきた林業六次産業化の成果および検証、そして、委託先である株式会社トビムシについて質問しました。</p> <p>新たに設立された林業六次産業化に伴う地域商社「萩・森倫館」について改めてお聞きします。</p> <p>(1) 地域商社「萩・森倫館」には地域おこし協力隊2名を派遣するとのことでしたが会社体制はどのようになりますか。</p> <p>(2) 川上にある林業機械施設は萩市の施設として萩阿武森林組合が指定管理を受けていますが、「萩・森倫館」が材木置き場として利用、管理面での不安の声が出ている現状にどのように対処しますか。</p> <p>(3) 今後、出資者をさらに募る予定とのことですが、最終報告で提出された事業計画や収支はあくまでも全体像でした。</p> <p>明確なビジョンや計画や収支などの明示がなければ出資だけでなく地元理解や協働は進みません。萩市としてどのように考えますか。</p> <p>(4) 同様に、林業六次産業化検討委員会は幅広い関係者を含めた会議でしたが、開催も少なく時間も足りなかったと感じます。今後も継続しますか。</p>

質問順位	7	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 山陰自動車道の都市計画手続き等の進捗状況について	1. 山陰道（大井～萩間）の状況について 2. 山陰道（小浜～田万川間）の状況について		
2. 中体連等のコロナ感染に伴う全国大会等の中止について	1. 春季県体育大会や県選手権及び中国大会、全国大会の中止について 2. 秋季県体育大会の開催について 3. 今後のクラブ活動等の対応について		

質問順位	8	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 山陰自動車道の大井萩道路における中の倉地区の景観問題について問う	<p>1. 山陰道の大井萩道路にかかわる公聴会が令和2年10月7日に開催されている。その公聴会において、中の倉地区における現計画ルートが同地区の景観を著しく損なう可能性があり、これを強く懸念する公述意見があがっている。</p> <p>これに対して、萩市はどのように対応するのか。</p> <p>大井萩道路における現計画ルートは、市道松本福井線を横切る形で整備が予定されており、計画では市道松本福井線上にボックスカルバートを設置し、それに隣接する道路眼下の谷間には、盛土により高さ4～5mもの巨大な法面を整備するとのことである。</p> <p>これが事実であるなら、中の倉地区の景観は現状と大きく異なってくる。まずは、この事実を確認したい。</p> <p>公述意見に対する山口県の回答によれば、景観への配慮については、萩市の景観計画に基づいて対応を行うとのことである。</p> <p>現状、萩市は中の倉地区を特別な景観保護地区に指定をしていない。このままであれば、景観に対して何ら配慮のないまま道路計画が進行する懸念がある。</p> <p>今般、地元からの要望を受けて、景観計画を見直すことはないか問う。</p> <p>自然環境にも恵まれた中の倉地区は萩焼創生の地とも言われ、「萩焼古窯跡群」を形成する一帯でもある。景観計画を見直さない場合でも相応の配慮が必要である。そのように萩市も県に上申すべきではないか。</p> <p>これまで萩市は自然景観、歴史景観に最大限配慮することでまちづくりを行ってきた。これはこのまちの宿命でもある。道路計画の遂行にあたり、景観について知見を有するデザイナーの招聘も望まれている。対応ができないか問う。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>2. 三見地区における定住住宅の実現と駅舎の有効活用を</p>	<p>1. 山陰道と小郡萩道路の整備進捗に伴い、萩市は令和2年度よりインターチェンジ周辺のまちづくりプランを策定した。本年度に策定するプランは2つで、その対象は山陰道三見・明石インターチェンジと小郡萩道路明木インターチェンジである。</p> <p>今回は、主に三見地区におけるまちづくりプランについて訊く。</p> <p>三見地区にはすでに約10年前から山陰道・萩三隅道路が開通し、そのお膝元となる三見地区明石には道の駅がいち早く整備されている。なぜ、このタイミングでこのまちづくりプランを策定するのか訊ねる。</p> <p>すでに示されているまちづくりプランの概要では、予めから要望してきた定住促進住宅や分譲地の整備があげられている。</p> <p>この方向性は地元要望とも合致するものであり、正しい方向性であり率直に大いに評価したい。ただ、その他の施策として、お試し暮らし住宅の整備とある。これは移住希望者が1ヵ月程度滞在できる住宅の整備である。これよりも定住住宅や分譲地整備が上位になるよう配慮して欲しい。人口減少そして高齢化に喘ぐ三見地区に望まれているのは、若い世帯の定住である。</p> <p>既に申し上げている通り、三見地区は自然環境に恵まれ、市内への交通アクセスは他地区を凌駕する好立地である。加えて、下水道環境も整備されており、若い世帯の定住には申し分のない地区である。更に、この地区にはJRの駅が飯井と三見とに2つ存在する。これは他の地域・地区にはない財産である。特に三見駅は三見地区の最大の人口密集地区に存在する。今後は、これらの駅舎を有効に活用したまちづくりのプランを提示して欲しい。</p>

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
<p>3. 中核病院の医療機能は統合前に劣後するのか</p>	<p>1. 先の2月8日に第5回目の中核病院形成検討委員会が開催された。そこで診療科目・医療機能および病床規模が明示されるとともに経営シミュレーションについての方向性が示されたところである。その検討委員会での議論を傍聴するにあたり、新たな診療科目が示されるわけでもなく、むしろ産婦人科については現状の機能より劣後する印象を受けた。</p> <p>これだと何の為の中核病院か分からない。多額の公金を投じて萩市が主導して中核病院を形成するわりに市民へのメリットがあまりにも少ないのではないか。産婦人科を中心とする周産期医療は市民の期待も大きい。具体的に市民からの要望も出ている。このことについて改善を期待したい。</p> <p>また、議論を通じて感じたことであるが、現在の萩市民病院と都志見病院の両代表者が方向性を決めているかのような印象を受けた。この中核病院は新しい病院をつくるという方向性のもとで議論をしなければならない。よって、早急に新病院の代表者を選定し、そのリーダーシップのもとで中核病院のあり方を検討した方がしこりがなくていい。このことについても萩市は主導的な立場である。改善を促したい。</p>

質問順位	9	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 商工行政について	1. 政府主導による再生可能エネルギーの普及に向けた「洋上風力発電」誘致等の情報共有について		

質問順位	10	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市のコロナ対策について	1. 市内事業者への追加支援策はどのようなものを考えているか。 2. 検査体制の拡充は考えているのか。		
2. 移住・定住支援、新規就農就業支援策の充実について	1. 移住・定住支援事業の効果は発揮されているか。 2. 移住後の相談・生活支援は機能しているか。 3. 新規就農・新規就業への支援は適切に進められているか。		
3. 市道、県道の管理と整備について	1. 市道、県道の管理が不足しているという指摘にどのようにこたえるか。 2. 地元自治会や地元団体への業務委託を積極的に進められないか。 3. 県道須佐湾高山尾浦線（ホルンフェルスの上）、県道弥富小川線（待避所）、県道益田阿武線（原中～千匹）、県道津和野田万川線（丸山～上組）の改良、整備への取組みをどう考えているか。		
4. 阿武風力発電にどのように対応するか	1. 事業者による環境アセスメントに基づく「方法書」の縦覧が行われているが、「住民説明会」開催に向けてどのように働きかけているか。 2. 住民の意見や不安をくみ上げるしくみを市は考えているか。 3. 市役所内にプロジェクトチームを作って、建設の影響を詳しく検討する考えはあるか。		

質問順位	11	質問者	佐々木 公恵 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 新型コロナウイルスワクチン接種について		<ul style="list-style-type: none"> 1. 優先順位について 2. 周知について 3. 相談体制について 	
2. 高齢者福祉の支援について		<ul style="list-style-type: none"> 1. コロナの感染防止対策を踏まえた高齢者の健康づくりについて 2. 高齢者施設等におけるオンライン面会等の支援について 3. 高齢者のICTを活用した支援の充実について 	

質問順位	12	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 環境施策について	1. 現在、市で実施している環境施策について 2. 企業・個人への連携・協力について		
2. 上水道の維持管理と技術系職員の現状について	1. 人口知能を活用した上水道の維持管理について 2. 技術系職員の現状と確保について		

質問順位	13	質問者	浅井朗太議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 消防行政について	<p>1. 火災対応に関する消防行政について、以下お尋ねします。</p> <p>(1) 700km²の広さのある萩市ではありますが、萩市三角州や漁業集落・中山間地農業集落などでは家屋が密集し、道路が狭隘な地域も多くあります。凶上及び現地での火災の想定訓練において、道路状況の把握は行っていますか。</p> <p>(2) 消火栓の地域ごとの数と位置の把握と、それぞれの消火能力について、消防署と消防団との間でどのように共有されていますか。</p> <p>(3) 住宅密集地の消火栓の水圧について、住宅密集度が消火栓の水圧に与える影響について、上下水道局を含めての準備対策についてお尋ねします。</p> <p>(4) 鎮火後の現場検証で得た結果は、課題を含めてどのように取り扱っていますか。</p>		
2. GIGAスクール構想の進捗について	<p>1. 端末の整備とWi-Fi環境整備完了予定となる年度末を控え、本市でのGIGAスクール構想の進捗状況について、以下お尋ねします。</p> <p>(1) タブレット端末は、学習用アプリケーションのインストール、GIGAスクールサポーターの確保など、すべての小中学校で使用できる準備が整いましたか。</p> <p>(2) 整備されたWi-Fi環境では、同時多数接続にどの程度対応できているか実証テストは行われていますか。</p> <p>(3) パソコンやタブレット端末のブルーライトを低減するブルーライトカットシールを貼付する自治体があります。本市でも、児童生徒の視力低下防止のために導入は検討されていますか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 緊急事態宣言等の影響による人の行き来の減少が与える市内景況への影響や実態について</p>	<p>1. 全国一律の一斉休校、緊急事態宣言、再度の地域限定緊急事態宣言とその延長など、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動のバランスが未だ取れない状況が1年以上続いています。本市の感染者数は全国最低レベルでありながら、確実に市内事業者に経済的打撃が及んでいます。中小事業者の多く活躍する本市の事業界にとっては焦眉の問題です。</p> <p>現状について市としての実態把握や今後の対応について、以下お尋ねします。</p> <p>(1) 各種業界や団体の実態把握や要望についてどのように取り組み、対応されていますか。</p> <p>(2) 市単独で様々な支援策を迅速に講じてきています。今後も速やかにかつ漏れの無いきめ細やかな支援が必要と想定されますが、財政的後押しが欠かせません。国からの支援が、持続的に得られるよう声をあげていく必要があると考えられますが、どのように取り組まれるのでしょうか。</p>